

2026年度人間社会科学研究科入試問題

臨床心理学（出題意図及び解答）

（臨床心理学専攻 一般入試）

1.

	○ × 欄	訂正欄
①	×	定められた順序ではなく，対象者に応じた順序
②	×	LMTではなく，HTP
③	○	
④	×	一つに絞ってではなく，テストバッテリーを組んで
⑤	○	
⑥	×	課題点に限ってではなく，得意不得意を含め総合的に，等
⑦	×	内的作業モデルではなく，アタッチメント（愛着）
⑧	○	
⑨	×	中年期ではなく，思春期または青年期（思春期・青年期）
⑩	○	

出題意図：発達と心理アセスメントに関する基礎的な知識を問うために出題した。

2.

(1)	出題意図：臨床心理学における研究法に関する基礎的な知識を問うために出題した。	
(2)	①	出題意図：心理臨床における基礎的な知識を問うために出題した。
	②	出題意図：心理臨床における基礎的な知識を問うために出題した。
	③	出題意図：心理臨床における基礎的な知識を問うために出題した。

3.

問 1	出題意図：書面で示された事例からクライアントを理解する能力を問うために出題した。	
問 2	(1)	出題意図：スクールカウンセリングに関する基本的な知識と，書面で示された事例からクライアントを理解する能力，またその理解を基盤として，スクールカウンセリングへの導入について適切に言語化する能力を問うために出題した。
	(2)	出題意図：スクールカウンセリングに関する基本的な知識と，書面で示された事例からクライアントを理解する能力，またその理解を基盤として，スクールカウンセリングへの導入について適切に言語化する能力を問うために出題した。
問 3	出題意図：書面で示された事例からクライアントの関係者を理解する能力を問うために出題した。	
問 4	(1)	出題意図：書面で示された事例から，スクールカウンセリングに関する基本的な知識と，スクールカウンセラーとしての倫理に関する理解，またその理解を基盤として，スクール

		カウンセラーとして相応しい判断について適切に言語化する能力を問うために出題した。
	(2)	出題意図：書面で示された事例から、スクールカウンセリングに関する基本的な知識と、スクールカウンセラーとしての倫理に関する理解、またその理解を基盤として、スクールカウンセラーとして相応しい判断について適切に言語化する能力を問うために出題した。

4.

問 1	解答：ICD-11 出題意図：心理臨床における基礎的な知識を問うために出題した。
問 2	出題意図：心理臨床における基礎的な知識を問うために出題した。
問 3	出題意図：心理臨床における基礎的な知識について、クライアントに応じて適切に言語化して説明を行う能力を問うために出題した。
問 4	(1) 出題意図：心理療法に関する基本的な知識と、書面で示された事例からクライアントを理解する能力、またその理解を基盤として、心理療法への導入について適切に言語化する能力を問うために出題した。 (2) 出題意図：心理療法に関する基本的な知識と、書面で示された事例からクライアントを理解する能力、またその理解を基盤として、心理療法への導入について適切に言語化する能力を問うために出題した。

5.

問 1	出題意図：臨床心理学の英語文献を読解するために必要な専門的知識と、英文の文意をつかむ能力及び語彙力を問うために出題した。
問 2	出題意図：臨床心理学の英語文献を読解するために必要な専門的知識と、英文の文意をつかむ能力及び語彙力を問うために出題した。
問 3	出題意図：臨床心理学の英語文献を読解するために必要な専門的知識と、英文の文意をつかむ能力及び語彙力を問うために出題した。
問 4	出題意図：臨床心理学の英語文献を読解するために必要な専門的知識と、英文の文意をつかむ能力及び語彙力を問うために出題した。